



特別名勝・特別史跡  
**浜離宮恩賜庭園**

- 開園年月日  
昭和21(1946)年4月1日
- 開園面積  
250,215.72㎡
- 開園時間  
午前9時～午後5時  
(入園は午後4時30分まで)
- 休園日  
年末年始(12/29～1/1)
- 無料公開日  
みどりの日(5月4日)  
都民の日(10月1日)
- 庭園ガイド(無料)  
土、日曜日、祝日  
(午前11時と午後2時の1日2回)
- 松の御茶屋・燕の御茶屋ガイドツアー  
木曜日 11時・12時・13時・14時  
(4回、約40分、※中学生以上先着25名)  
※気象状況等により実施を中止する場合があります。  
当日の実施についてはサービスセンターにお問い合わせください。

【お問合せ先】  
 浜離宮恩賜庭園サービスセンター  
 ☎03-3541-0200  
 〒104-0046 中央区浜離宮庭園1-1

	個人	団体 (20名以上)	年間パスポート (浜離宮恩賜庭園)	年間パスポート (9庭園共通)
入園料	一般	300円	240円	1,200円
	65歳以上	150円	120円	600円
無料	小学生以下(要付添)及び中学生(都内在住もしくは在学) 身体障害者手帳、ミライロID、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または療育手帳持参の方と付添の方			

浜離宮恩賜庭園・旧芝離宮恩賜庭園“園結びチケット” 一般 400円 65歳以上 200円

集会場 (貸室)	①午前の部 9:00～12:00	②午後の部 13:00～16:00	③1日 9:00～16:00
	芳梅亭(25名)	3,600円	3,600円

※6ヶ月前の同日午前9時から受け付けます。 ※別途入園料が必要です。



- 【交通のご案内】
- 《電車》
- 大手門口  
都営大江戸線「汐留」[築地市場]・ゆりかもめ「汐留」下車徒歩7分  
JR山手線・京浜東北線・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋」下車徒歩12分
  - 中の御門口  
都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留」下車徒歩5分  
JR山手線・京浜東北線「浜松町」下車徒歩15分
- 《水上バス》  
運航状況につきましては、TOKYO CRUISEのホームページをご確認ください。  
<https://www.suijobus.co.jp>  
 ※発着場をご利用の場合、入園料が別途かかります。
- 《駐車場》  
ご来園の観光バス専用  
※障害者・車椅子の方の車両は駐車可

**文化財庭園へご来園の皆様へ**

都立庭園は、江戸、明治、大正時代から続く歴史・文化・自然を兼ね備えており、いずれも国や都の文化財に指定されています。震災や戦災、進む都市化の中で残された貴重な存在であり、この貴重な存在がよりよい状態で後世に残るよう、皆様にご理解とご協力をお願いいたします。

【庭園からのお願い】

- ペット(動物)を連れてのご入園、園内の動植物の採集、動物の利用、酒類の持込みはご遠慮ください。
- 写真撮影、写生は建物・添景物保護のためにお断りする場所があります。
- 文化財は不定期で保存修理工事を要することがあり、一部ご観賞いただけない部分があります。
- 園内全面禁煙です。喫煙所はありません。

都立文化財9庭園

- 浜離宮恩賜庭園
- 旧芝離宮恩賜庭園
- 小石川後楽園
- 六義園
- 旧岩崎邸庭園
- 向島百花園
- 清澄庭園
- 旧古河庭園
- 殿ヶ谷戸庭園



東京都公園協会全般に関する問い合わせ先  
 東京都公園協会本社 TEL. 03-3232-3011 ※8:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除く)  
<https://www.tokyo-park.or.jp>  
 発行：文化財庭園課 TEL. 03-3232-3018 24.10

特別名勝・特別史跡

はま り きゅう おん し てい えん  
**浜離宮恩賜庭園**  
 Hama-rikyu Gardens

江戸の潮風そよぐ浜御殿



指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会



# 徳川将軍家の庭園

海水を引き入れた潮入の池と、二つの鴨場を伝え、江戸時代には、江戸城の「出城」としての機能を果たしていた徳川将軍家の庭園です。承応3(1654)年、徳川将軍家の鷹狩場に、四代将軍家綱の弟で甲府宰相の松平綱重が、海を埋め立てて甲府浜屋敷と呼ばれる別邸を建てました。その後、綱重の子、綱豊(家宣)が六代将軍になったのを契機に、この屋敷は将軍家の別邸となり、「浜御殿」と呼ばれるようになりました。以来、歴代将軍によって幾度かの造園と改修工事が行われ、十一代将軍家斉の時代にほぼ現在の姿の庭園が完成しました。

明治維新ののちは皇室の離宮となり、名称を「浜離宮」と変えました。関東大震災や戦災によって、御茶屋など数々の建造物や樹木が損傷し、往時の面影はなくなりましたが、昭和20(1945)年11月3日、東京都に下賜され、整備ののちに昭和21(1946)年4月から「浜離宮恩賜庭園」として公開されました。その後、昭和27(1952)年11月22日に「旧浜離宮庭園」(文化財指定名称)として国の特別名勝及び特別史跡に指定されました。



## 潮入の池

海水を引き入れ、潮の干満によって池の趣を変える様式。都内にある江戸の庭園では唯一現存する海水の池です。東京湾の水位の干満に従って水門を開閉し、池の水の出入りを調整しています。池にはボラをはじめ、セイゴ、ハゼ、ウナギなどの海水魚が棲息しています。

## 新樋の口山

東京湾に面した水門近くの山。レインボーブリッジやお台場など臨海副都心を一望できます。

## 将軍お上がり場

将軍が船に乗降する所でした。昭和24(1949)年のキティ台風で階段の一部が崩れて海中に沈みました。



# 4つの御茶屋

歴代の将軍たちは「御茶屋」で賓客と共に景色を楽しみながら食事をしたり、調度品を鑑賞するなどして過ごすほか、鷹狩の際の休憩場所としても使用していました。これらの多くは焼失してしまいましたが、宝永4(1707)年に造られた「中島の御茶屋」は昭和58年(1983年)に再建、11代将軍家斉の時代に建てられた「松の御茶屋」は平成22年(2010年)、「燕の御茶屋」は平成27年(2015年)、「鷹の御茶屋」は平成30年(2018年)にそれぞれ史資料に基づき忠実に復元され、往時をしのばせる景色がよみがえりました。なお、中島の御茶屋では抹茶とお菓子セット(有料)をお楽しみいただけます。



## お花畑

春は「ナノハナ」、夏から秋にかけては「コスモス」が美しく咲き誇ります。

車いす通行可ルート  
Wi-Fiスポット (FREE Wi-Fi & TOKYO)



鷹の御茶屋



潮入の池と中島の御茶屋



松の御茶屋



燕の御茶屋

## つた お伝い橋

潮入の池の岸から小の字島と中島を結ぶ延長約120mもある総檜造りの橋。往時は橋全体に藤棚があり、現在も一部残っています。



## かも 鴨場

庚申堂鴨場と新銭座鴨場の二つがあります。築造は、前者が安永7(1778)年、後者が寛政3(1791)年という古いもの。鴨場池には幾筋かの引堀(細い堀)を設け、小覗から鴨の様子をうかがいながら、ヒエやアワなどのエサとおとりのアヒルで引堀におびき寄せ、機をみて小土手から鷹や網で捕るという猟を行っていました。



小覗



引堀

## 三百年の松

今から約300年前六代将軍家宣が、庭園を大改修したとき、その偉業をたたえて植えられたと言われている松。太い枝が低く張り出し、いまなお堂々たる姿を誇っています。



↑ 旧芝離宮恩賜庭園・浜松町  
→ 汐留

→ 汐留  
新橋